



同社の低騒音電源車は災害支援車として宮城県に登録している。氏家社長（円内写真右）と山屋社長

新規展開

産業系需要が拡大 低騒音電源車配備

I・C・Cインターナショナル株

株式会社トスネット（仙台市）のグループ会社で電源供給事業（電源車のレンタル）を展開するI・C・Cインターナショナル株（本社札幌）が、需要の拡大から仙台市に出張所を開設することになり7月9日、説明会を開いた。

出張所はトスネットが管理する仙台市宮城野区の仙台港背後地の土地約1320平方メートルに車庫を設置し、75KVAと260KVAの電源車2台を配備するもの。同社の電

源車は低騒音で安定した電気が供給でき、これまで屋外での大規模コンサートや映画撮影など、商業用を中心にシェアを伸ばしてきたが、東日本大震災後は病院や介護施設のほか、大型ビルのメンテナンス時のバックアップ電源など、産業系の需要が拡大し、東北でも需要が見込めることから仙台に新たな拠点を置くことになった。

説明会でトスネットの氏家仁代表取締役社長は「今後は産業系への需要を拡大したい。これからもグループ全体で地域に安全と安心を提供できるように取り組んでいきたい」と抱負を語った。また、I・C・Cの山屋幸雄代表取締役は「仙台は札幌と横浜の中間地点として、距離的にも費用的にも利便性が向上しますので、東北での認知度を上げていきたい」と今後の展開に期待を込めた。